

2018年10月

『トレーニング指導者テキスト実践編 改訂版』訂正箇所リスト

表記テキストの記載に誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、以下の通り訂正させていただきます。

本リストは、「トレーニング指導者テキスト実践編 改訂版 第5刷」（以前の発行含む）の訂正箇所に対応するものです。現在お持ちの「トレーニング指導者テキスト理論編 改訂版」が何刷であるかは、P.255にてご確認ください。

トレーニング指導者テキスト実践編 改訂版
しどうしゃ じっせんへん かいいていばん

©Japan Association of Training Instructors, 2009, 2014 NDC780/254p/26cm

初 版第1刷発行—2009年 1月10日
改訂版第1刷発行—2014年 3月30日
第5刷発行—2017年 9月 1日

編著者———NPO法人 日本トレーニング指導者協会
ほうじん にほん しどうしゃきかい
発行者———鈴木一行
発行所———株式会社 大修館書店
〒113-8541 東京都文京区湯島2-1-1
電話03-3868-2651（販売部）03-3868-2299（編集部）
振替00190-7-40504
【出版情報】 <http://www.taishukan.co.jp>

装丁者———井之上聖子
イラスト———石川正順
印刷所———横山印刷
製本所———牧製本

ISBN978-4-469-26754-9 Printed in Japan

☐本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても著作権法上認められておりません。

●2章6節 P88 右段 上から21行目

（誤）例えば、レッグスイングのエクササイズで股関節を伸展・屈曲する場合、伸展時に主動筋である股関節の屈筋（腸腰筋・大腿直筋など）を意識的に収縮させる。

（正）例えば、レッグスイングのエクササイズで股関節を伸展・屈曲する場合、**屈曲時**に主動筋である股関節の屈筋（腸腰筋・大腿直筋など）を意識的に収縮させる。

●3章5節 P199 左下(6) 股関節の伸展屈曲

(誤) ●動作2. 伸展は、外転筋群を意識して後方へ大腿を上げる。

(正) ●動作2. 伸展は、**伸展**筋群を意識して後方へ大腿を上げる。

以上